

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月20日 11:10~12:00	場所	小会議室	出席 状況	全員出席
第2回	日時	12月21日 11:10 ~12:00	場所	小会議室	出席 状況	全員出席
第3回	日時	3月21日 11:00~12:00	場所	面談室	出席 状況	1名欠席

2 学校評議員に求めた事項

- ①本校の学校教育目標に対する意見
- ②教育活動全般に対する意見
- ③教務・生徒指導・進路指導の活動状況及び成果と課題に対する意見
- ④学校評価の結果等に対する意見

3 学校評議員の意見

- ・「自主性」等、人を育て社会に貢献するには学校側から明確な教育目標を打ち出すことは良い。
- ・進路決定を先送りする生徒が多いので、1年生から目的をもって高校生活送れるよう進路指導を強化して欲しい。
- ・文武両道どちらも叶えられるよう、国公立大学の進学を増やして欲しい。
- ・特別支援が必要な生徒の対応や生徒指導について、家庭や地域の教育力の低下もあり職員の負担が大きい。
- ・家庭環境含め複雑な問題が増えているので、生徒の心理的ケアと職員の専門的な研修が必要
- ・自転車通学の安全義務や地域の巡回を強化しバイク通学等の交通安全指導に力を入れて欲しい
- ・詐欺や薬物使用等の新しい犯罪について、外部機関から情報共有しながら指導を強化して欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ・進路希望調査の項目を工夫し、学期ごとに進路決断する機会を設け、担任と連携し進路指導に活かした。
- ・総合型・推薦入試に向けた取り組みを早期から行い、国公立大学7名が合格者を達成した。
- ・特別な支援が必要な生徒に、スクールカウンセラーや福祉関係等の専門機関と繋げて対応した。
- ・地元の中学校や警察機関、地域と連携し、情報を得ながら交通安全指導を行うことができた。

5 課題その他

- ・学校の教育目標や育成したい生徒の資質・能力等について職員での共通理解を図る
- ・主体的な態度の育成を図る「総合的な探求の時間」とキャリア教育と連携
- ・内規改訂を含め、生徒が問題行動を繰り返さないような生徒指導のあり方
- ・詐欺、薬物使用などの犯罪及びSNSトラブルに対する未然防止の取り組み
- ・入試制度の変更や生徒の実態に即した「学校評価」の評価項目の見直し